



千葉の
くらしを
もっと楽しく



会社概要

会 社 名： 株式会社 千葉ステーションビル

代 表 者： 代表取締役社長 杉村 晶生

所 在 地： 千葉県千葉市中央区新千葉一丁目7番2号ペリエ+plusビル

会 社 設 立： 1961年 8月1日

営 業 開 始： 1963年 4月28日

事 業 内 容： ・商業施設の運営及び管理 ・不動産賃貸業
・駅業務の受託 ・インターネット等による通信販売業

資 本 金： 2億円

売 上 高： 556億54百万円(2025年度テナント売上高)

施 設 名： 【店舗】

■ペリエ千葉■ペリエ稲毛■ペリエ西千葉■ペリエ津田沼■ペリエ西船橋■ペリエ海浜幕張
■ペリエ稲毛海岸■ペリエ検見川浜■四街道駅ビル■アルカード茂原■千葉みなと

【受託駅】

■幕張豊砂駅■海浜幕張駅■検見川浜駅■稲毛海岸駅

【公式オンラインストア】

■PERIE Online JRE MALL店

【不動産】

■ペリエ+plusビル■CSB新千葉ビル■ペリエレジデンス新千葉

■ペリエレジデンス作草部A棟・B棟■ペリエメディカルビル美浜

【近年のトピックス】

2023年

- 2月 女性活躍推進法に基づく優良企業として「えるぼし」認定三ツ星を取得(2月24日)
- 3月 幕張豊砂駅の駅業務を受託(3月18日)
- 4月 株式会社ペリエビルサービスと合併(4月1日)、ペリエ千葉開業60周年
- 11月 ペリエメディカルビル美浜開業(11月6日)

2024年

- 1月 令和5年度千葉県男女共同参画推進事業所表彰「千葉県知事賞」
- 3月 幕張豊砂駅前「とよすなうみかぜ広場」開業(商業コンテンツ運営)(3月25日)
- 4月 「プラチナくるみん」認定を取得(4月22日)
- 5月 令和6年将来世代応援企業表彰「将来世代応援企業賞」
- 8月 支社跡地暫定活用 JR千葉駅南口「ペリヨコ」開業(8月6日)

2025年

- 3月 ペリエ海浜幕張 PARK SIDE1開業(3月22日)
ペリエ西千葉アネックス リニューアルオープン(3月28日)
- 4月 ペリエ海浜幕張 PARK SIDE2開業(4月1日)
- 5月 「プラチナえるぼし」認定を取得(5月2日)
ペリエレジデンス作草部完成(5月14日)

2026年

- 4月 ペリエ稲毛グルマリーナ開業(4月22日)



表紙の鳥は「コアジサン」です。
千葉市の政令指定都市移行を記念して
1993年に市の鳥として制定されました。

トップメッセージ

ペリエのサステナビリティが育む、心豊かな暮らしとまちづくり

当社は、千葉エリアの駅ビル「PERIE（ペリエ）」を中心とした商業施設の開発・運営を主軸に、京葉線の幕張豊砂駅、海浜幕張駅、検見川浜駅、稲毛海岸駅を「ペリエステーション」として商業施設と一体運営することで、駅を中心とした魅力あるまちづくり、沿線地域の皆さまの心豊かなくらしづくりに向けて取り組んでいます。

私たちは、地域の魅力を発信し、企業理念として掲げる「千葉のくらしを、もっと楽しく」を推進するとともに、安全かつ安心してご利用いただける快適なサービスの提供を行い、地域の皆さまに信頼される企業を目指します。

当社創業の地であるペリエ千葉においては、60年以上にわたり、地域の皆さまにご愛顧をいただいておりますが、大きく変わりゆく社会構造を見据えて持続的な企業経営を行っていくために、これまで以上に地域社会が抱える課題解決に向けた施策を様々な方と連携して進め、新たな価値を創出していきます。

本レポートは、主に昨年度実施した当社のESG(環境・社会・企業統治)施策について取りまとめています。ステークホルダーの皆さまにおかれましては、当社の社会課題解決に向けた取り組みや、お客さま、地域の皆さまの心豊かなくらしづくりに貢献する取り組みについてご理解をいただけると幸いです。

2026年7月
代表取締役社長
杉 村 晶 生

Mission Statement

企業理念

千葉のくらしを、もっと楽しく

私たちは、千葉に根差し暮らしの身近な場面に寄り添いながら、
便利さだけでなく、心が動く価値を届けたいと考えています。

お客さまや地域のみなさまの笑顔を思い描きながら価値を生み出していきたい、
私たちの企業理念にはそんな思いが込められています。

ビジョン（私たちが目指す姿）

人と街がつながり、しあわせが広がる未来へ

私たちは、駅や街といった暮らしに身近な場所を通じて、
人と人、人と街がつながっていくことを大切にしています。
そのつながりが広がることで、しあわせを感じられる場や時間が増えていく。
この想いを胸に、人と街のつながりを育む取り組みを続けていきます。

バリュー（私たちが大切にすること）

- ・ つながりを大切にし、思いやりをもって行動します
- ・ 誠実に向き合い、安全と安心を社会に届けます
- ・ 積極的に学ぶとともに、変化を楽しみ、チャレンジします

当社は2014年に企業理念を策定して以来、ペリエ千葉のグランドオープンや、不動産・EC事業などの新たな領域へ挑戦を続けてきました。そして2020年には京葉線の駅業務を受託し、地域の皆さまとともに「くらしづくり」に向き合う姿勢をより一層強めてきました。こうした環境と事業構造の変化や、日々いただくご期待を踏まえ、企業理念、目指す姿（ビジョン）、大切にしたい価値観（バリュー）を見つめ直し、新たに決めました。



日常の豊かさや楽しさを感じる商業施設

駅ビル・エキナカ商業施設「PERIE」（ペリエ）をはじめ、千葉県内で11館の施設を管理・運営しています。「毎日をもっと楽しく」をテーマに、お客さまの期待に応えるサービス展開や心地よさを追求し、より便利でより楽しい空間を提供し続けます。



魅力あるまちづくり・くらしづくり

総武線・京葉線沿線に開発のフィールドを広げ、魅力ある商業施設の開発や不動産管理等、地域に根差した総合的な事業を通して、沿線の価値を高める魅力あるまちづくりを推進し、地域で生活される皆さまの心豊かなくらしづくりに貢献します。





駅業務の受託

駅と商業が一体となったサービス推進

JR東日本より、京葉線の「幕張豊砂駅」「海浜幕張駅」「検見川浜駅」「稲毛海岸駅」4駅の駅業務を受託しています。安全・安心の追求はもとより、街や商業施設と一体となった京葉線沿線エリアの価値向上を目指しています。



EC事業・地域共創

地域の魅力を発掘・発信

地域の魅力を発信するEC事業、エリアの賑わいを創出する催事・イベントを展開しています。JR東日本のグループ力を活かした連携や、ペリエが行う企画開発、タイアッププロモーション等、多彩な顧客体験と、オリジナリティのあるサービスが特徴です。

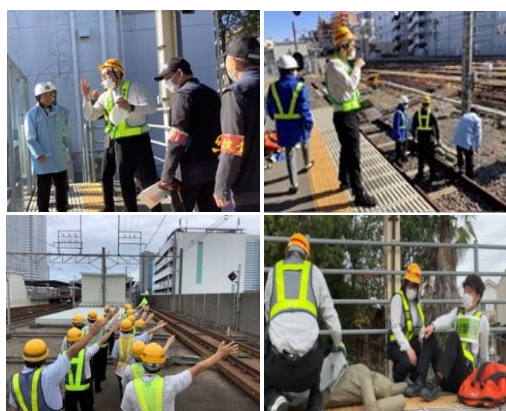




JR東日本グループは「安全」を経営のトッププライオリティと位置づけ、「究極の安全」を追求し、グループ一丸となって安全レベルを高めるための取組みを推進してきました。商業施設の開発・運営に加え、駅業務を受託する当社では、「グループ安全計画2028」を基軸に、社員一人ひとりが、お客さまに安全で安心してご利用いただける館・駅づくりに取り組んでいます。

■ 安全・安定輸送

定期的な訓練と安全意識の醸成



当社は、JR東日本から京葉線沿線の4駅の業務を受託し、商業施設であるペリエと一体で運営しており、「ペリエステーション」と称しています。「ペリエステーション」では、安全・安定輸送を確保するために、JR東日本千葉事業本部の訓練施設等を活用して、様々な訓練に取り組み、社員のスキルアップを図っているほか、営業事故防止会議の実施や定期的な勉強会など、業務知識の習得に努めています。こうした日々の積み重ねにより、お客さまに安心してご利用いただける空間をつくり、イベント開催の多客時などにおいても、事故等の発生がないよう取り組んでいます。

■ 地域に頼られる安全安心の商業施設に

防災訓練の定期実施

駅直結の商業施設として、災害発生時にはペリエとJR東日本（駅）が連携し、お客さまと地域の安全を守る重要な役割を担っています。そのため、各商業施設では、通報・救助・避難誘導・初期消火など、様々な事象を想定した合同防災訓練を定期的に行い、万一の際にも迅速かつ的確に対応できる体制を整えています。



施設と従業員の安全確保を最優先にしつつ、速やかな営業再開と生活必需品の提供を可能にするため、事業継続計画（BCP）に基づいた社内訓練を継続的に行っています。今年度からの訓練では、災害発生時の被害状況を速やかに、かつ正確に集約するために、対策本部と各施設との連絡手段をデジタル化することで、より実効性の高いものとなるように取り組んでいます。



ゼロカーボン・チャレンジ2050

JR東日本グループは「ゼロカーボン・チャレンジ2050」を掲げ、長期目標である2050年度CO₂排出量実質ゼロに向けて取組みを推進しています。当社はグループの一員として、エネルギーマネジメント体制を構築し、省エネの促進、廃棄物の削減、資源循環など環境問題に積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に努めています。

【当社の環境長期目標】「施設の快適性」と「エネルギーの最適化」の両立を目指して、下記項目に関する施策を遂行・管理しています。

【エネルギー（原油換算）原単位】
5年度間平均1%削減

【廃棄物の削減】
2019年度比10%削減
(2030までに)

【リサイクル率の向上】
2019年度比10%向上
(2030までに)

【2030年度のCO₂排出量】
2019年度比50%削減

環境データ[商業施設関連]

資源・廃棄物の種類		単位	2019年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(原油換算)		KI	5,098	4,553	4,290	4,693	3,958
エネルギー単位			0.04152	0.03732	0.03517	0.03418	0.03072
対2019年度比		%		89.9%	84.7%	82.3%	74.0%
一般廃棄物	リサイクル率	%	65	63	62	61	60
産業廃棄物	リサイクル率	%	52	91	91	89	86
水資源		m ³	106,775	97,941	107,060	112,890	303,731
紙資源		kg	6,703	4,084	4,017	3,770	2,481

2025年度の環境データにおいては、エネルギー使用量（原油換算）は前年度比で減少し、エネルギー原単位についても改善が見られました。これは主にペリエ稲毛のリニューアルに伴う休業の影響による一時的な要因が大きいものの、継続的な効率化施策の成果も寄与しています。CO₂排出量はオフサイトPPAの導入などにより2019年度比で33.5%削減を達成しました。

再生可能エネルギーの活用として、太陽光等と非化石証書を組み合わせた電力の導入により、排出量削減を推進しています。

・資源循環の面では、廃棄物総量はリニューアルや店舗入替の影響を受けて減少しました。一方で、猛暑に伴う需要増により一部の廃棄物（ペットボトル等）は増加するなど、外部環境要因の影響も確認されています。リサイクル率については一定水準を維持しており、引き続き資源の有効活用を推進していきます。

・水資源については、2025年度よりJR東日本グループでの算出方法が変更になり、数値上は増加が見られますが、内訳ではペリエ稲毛のリニューアル等の店舗入替の影響による減少を確認しています。

・紙資源については、一時的な社会全体の調達変更の影響により再生紙使用率が低下しましたが、これは特殊要因によるものであり、今後は安定的な調達体制のもとで改善を図っていきます。

・中長期的には、再生可能エネルギーの導入拡大や電源構成の見直しを通じて、2030年度までにCO₂排出量を50%削減（2019年度比）することを目標としています。さらに、非化石証書や再エネPPAの活用を組み合わせることで、着実な削減を推進し、将来的なカーボンニュートラルの実現を目指します。今後も、エネルギー効率の向上、再生可能エネルギーの活用、資源循環の強化を通じて、持続可能な社会の実現と環境負荷低減に継続的に取り組んでいきます。



循環型社会への取り組み

■千産千消エネルギーの推進

『千産千消(ちさんちしょう)』のオフサイト型コーポレートPPAを導入

当社施設において、太陽光発電由来の再生可能エネルギーを活用する「オフサイト型コーポレートPPA」を導入しました。千葉県内に設置された太陽光発電所で発電した電力および環境価値を当社施設へ供給する仕組みです。また、千葉県内で発電された電力を同じ県内の施設で消費する「電力の千産千消」として、地域内でのエネルギー循環を推進しています。本施策により、年間約236tのCO₂排出量削減(一般家庭約140世帯分相当)を見込んでいます。

供給先:

ペリエ西千葉(本館・アネックス)、ペリエ海浜幕張(西館・東館)、ペリエ+plusビル

愛称	所在地	容量(kW)
ペリエ太陽光発電所館山那古	千葉県館山市那古	50
ペリエ太陽光発電所香取山之辺	千葉県香取市山之辺	50
ペリエ太陽光発電所香取八本	千葉県香取市八本	150
ペリエ太陽光発電所銚子芦崎町	千葉県銚子市芦崎町	50



ペリエ太陽光発電所館山那古



供給先:ペリエ西千葉

■PASSTO(廃棄量の削減)

衣料回収BOX「PASSTO」の設置

循環型社会実現に向けたリユース・リサイクル事業を展開する「株式会社 ECOMMIT」が提供する衣類回収サービス「PASSTO」を2023年よりペリエ千葉へ導入し、2025年度は約11,300kgの回収量となりました。ほかにも海浜幕張駅で期間限定設置を複数回実施しており、お客さまへの認知拡大を当施設から推進していきます。



■サステナビリティ体験

「とよすなうみかぜ広場てづくり市」

出展する作家の皆さまが自身で手作りし販売するフリーマーケット「とよすなうみかぜ広場 てづくり市」にて、来場されるお客様にも手作りしていただけるワークショップを開催しました。駅で排出されるきっぷの芯を活用し、楽しみながらSDGsについて学べる機会となりました。





千葉ステーションビルが目指す、地域共創

私たちはこのテーマの実現に向けて、3つのアクションプランを通じ、この先の未来につながる暮らしを豊かにしていきます。

T H E M E

千葉と、ペリエと、次の100年をつくる

「千葉の暮らしをもっと楽しく」するために、また、その「楽しい毎日」が未来へずっとつづくように。
私たちが今、なにをすべきか、どんな未来をつくっていきたいか、地域の皆さまとともに考え、行動していきます。

次の100年も、しあわせが広がる「千葉」でありますように。
そして、その景色のなかで「ペリエ」が愛されつづけていますように。

私たちはそんな未来を楽しみに想像しながら、
その未来につながる今を、地域の皆さまとともにつくっていく「地域共創」をしつづけます。

A C T I O N P L A N

将来世代と、
つくる

これからの未来をつくっていく学生や子どもたちが、楽しく、輝ける場所や機会を提供し、千葉への愛着や千葉の未来を担う力を育てていきます。学生や子どもたちのペリエでの経験が、その先の記憶に残り続けますように。

地域パートナーと、
つくる

千葉が、魅力ある場所であり続けるため、私たちは地域で活動している皆さまと一緒に、様々なイベントや施策を行います。JR東日本グループのリソースと地域の魅力をかけあわせることで、あたらしい価値を創造していきます。

ペリエとお客さまと、
つくる

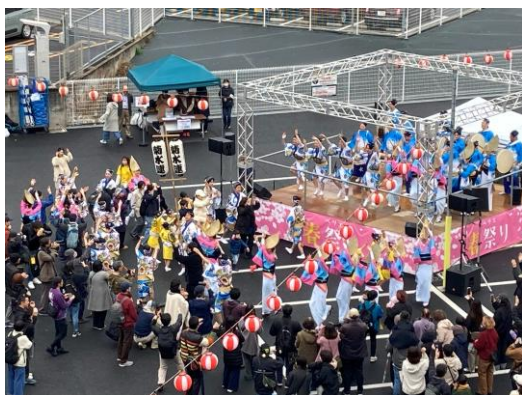
お客さまや、出店ショップの皆さまにも参画していただきながら、ペリエが地域の社会課題へ一緒に取り組める場所としてありつづけます。私たちは「ペリエだからこそできること」を考えつづけます。



地域との多様な接点

■ 千葉の魅力・文化発信

ペリエ春祭り



日本の古き良き伝統芸能の魅力を通じて、賑わいと交流を創出し、地域活性化を図る体験型イベント「ペリエ春祭り」を、2026年3月に「ペリエ千葉 ペリヨコ（イベントスペース）」にて開催しました。千葉駅という立地を活かし、多くの方が地域の魅力や文化に触れ、体感していただく機会になることを目指し、成田の老舗うなぎ店「川豊」をはじめ、成田の名品や千葉ゆかりの食、世代を超えて親しまれてきた阿波おどりや和太鼓の華やかな伝統芸能ステージを披露しました。



■ 行政や周辺地域とともに取り組む、まちづくり

Walkable TOYOSUNA実行委員会への参画



当社は、駅前広場や歩道などの公共空間をはじめ、民間敷地のオープンスペースなど、官民のパブリック空間を一体的に活用し、「居心地が良く、歩きたくなるまちなか」の形成を目指すWalkable TOYOSUNA実行委員会の一員として、駅前の「とよすなうみかぜ広場」において、縁日やエアー遊具など、お子さまが楽しめる賑わいイベントを開催しています。さらに、千葉市や周辺企業と連携したスタンプラリーの実施やクリーン活動への参加を通じて、幕張豊砂地区の街歩きの促進と賑わいの創出に取り組んでいます。

■ 地元高校生による販売実習会を開催

千葉経済大学附属高等学校商学科 販売会

千葉経済大学附属高校と連携し、生徒が模擬株式会社を設立して商品企画・開発から販売までを一貫して行う「販売実習会」を実施しました。生徒は地元企業と協働し、商品開発や仕入れ交渉、販促活動、当日の接客販売まで主体的に取り組みました。当社は会場提供や運営支援を通じて実践的な学びの場を創出し、多くのお客さまとの交流機会を提供しています。本取り組みにより、地域の魅力発信をするとともに、次世代人材の育成と地域活性化への貢献できることを目指しています。





地域との多様な接点

■ 駅社員への親しみと沿線とのつながり

「駅社員のお仕事体験」イベント



2025年7月に、駅の仕事を体験できるイベントを開催しました。このイベントはJR東日本が運営するJRE MALLで販売しました。当日は駅構内における「案内放送」や、駅社員が起床する際に使用する「自動起床装置」など、実際の機器を使用した体験や「JR 東日本トレインシミュレータ」を用いて、運転士経験のある社員によるアドバイスを受けながら京葉線の運転業務を体験していただき、イベントに参加した小学生や保護者の皆さまに楽しんでいただきました。

これからも子供たちの知的好奇心を育み、成長を支えるイベントを継続し、京葉線沿線の皆さまに駅に親しみをもっていただけるように努めていきます。



2026年5月には、子供たちが千葉市内での体験・経験を重ねる機会の一つとして、「千葉市ふるさと納税返礼品」に登録されました。

■ 駅前広場の賑わい創出

「お子さま向け遊具の「改札窓口販売」と「無料貸出」

幕張豊砂駅改札窓口で、シャボン玉やけん玉等の「お子さま向け遊具の販売」、とよすなうみかぜ広場では、フラフープや縄跳び等の「遊具の無料貸出」を実施しました。本施策は「京葉線沿線をご利用の皆さまとのつながりを大切に考え、駅前広場を気軽に楽しんでもらいたい」という駅社員の想いを形にしたものです。

駅業務を受託している当社だからこそできる、地域のお客さまへの多様なサービスを今後も実施してまいります。





地域との多様な接点

■ 交流の場の創出と利便性の向上

ペリエスクエア

ペリエ海浜幕張のお客様駐輪場を移設し、その跡地に、多目的に活用するスペースとして「ペリエスクエア」を新設、運用を開始しました。ペリエスクエアには、多機能ロッカー「マルチエキューブ」やシェアサイクル等を設置して、お客さまの利便性向上に努めました。ペリエスクエア内イベントスペースでは、大規模イベント開催時のコインロッカー不足の解消のため、(株)ジェイアール東日本物流と協力して、臨時手荷物預かり所をペリエスクエア内に設置し、多くのお客さまにご利用いただきました。ペリエスクエアにおける交流の場づくりとして、京葉線全線開業35周年、千葉市動物公園開園40周年を記念した「ペリエアニマルステーション」を開催、親子連れの皆さまに楽しんでいただきました。また、社員発意の「コーヒーによる地域活性プロジェクト」が「KAIMAKU BLEND STATION」と名付けたコーヒーフェスティバルをペリエスクエアで実施、コーヒーファンにとどまらず、幅広いお客様の来場があり、当社社員や出店コーヒーショップとの交流を深めました。



■ 高付加価値商品との出会い

はこビュン(列車荷物輸送)

2025年度はJR東日本管内各エリアの魅力発信のために、はこビュンを5回実施しました。商品選定から販売まで社員による直営で実施した回もありました。商品は多くのお客さまに気に入っていただき毎回完売となり、海浜幕張駅における人気イベントとして定着しました。

そして、JR東日本が運営する「JRE MALLオーダー」を利用して、駅改札窓口ではこビュンの商品受渡しを行う新しいチャレンジにも取り組みました。これからもJR東日本と連携して、お客さまがワクワクするような商品や体験を提供し続けます。





地域と共に創る まちづくり・くらしづくり

ペリエ稲毛食品ゾーンリニューアルオープン《2026年4月22日開業》



2026年4月22日にJR稲毛駅直結の商業施設「ペリエ稲毛」における食品ゾーン「フードスクエア」を「GOURMARENA(グルマリーナ)」としてリニューアルオープンしました。今回のリニューアルでは、これまでご利用いただいていたお客さまに引き続き足をお運びいただきながら、新たな世代の方々にも「ここがあると毎日の暮らしを少し豊かにしてくれる」と感じていただくことを目指しました。駅を利用する方、近隣にお住まいの方、家族の食卓を思い浮かべながらお買い物をする方——。稲毛で暮らす一人ひとりの日常に寄り添い続ける“食のペリエ”として、ペリエならではの視点で食の価値を磨き上げています。利便性の追求はもちろんのこと、稲毛に暮らすみなさまの毎日の食のシーンを、より素敵に、より楽しく、そして少し誇らしく感じていただける食の体験を提供する場所として進化してまいります。



開業までの機運醸成のため、地域の方と仮囲いアートの作成を行いました。



■ 特別な体験をお届けしています (ロイヤルカスタマーサービス)

PERIE Mate Program (ペリエメイトプログラム)



ペリエをご利用いただくJRE POINT会員さまのお買いものをもっと楽しくなる、ペリエから大切なお客さまへお届けする「PERIE Mate Program」を2021年にスタートしました。ご入会いただいたPERIE Mate 会員さまおよびPERIE Mate ゴールド会員さまにとって、これまでより一層良質な購買体験をご提供できるようにさまざまなサービスを提案しています。2025年度はショップ特典の充実に加え、季節に合わせた限定イベントの開催など、「毎日をもっと楽しく」するコンテンツを提供しました。

《2025年度実施特典(一例)》



会員限定イベントの開催



新春PERIE Mate LOUNGE

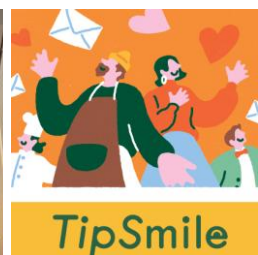


プレオープンご招待

■ 働きやすいペリエ、働いて楽しいペリエ

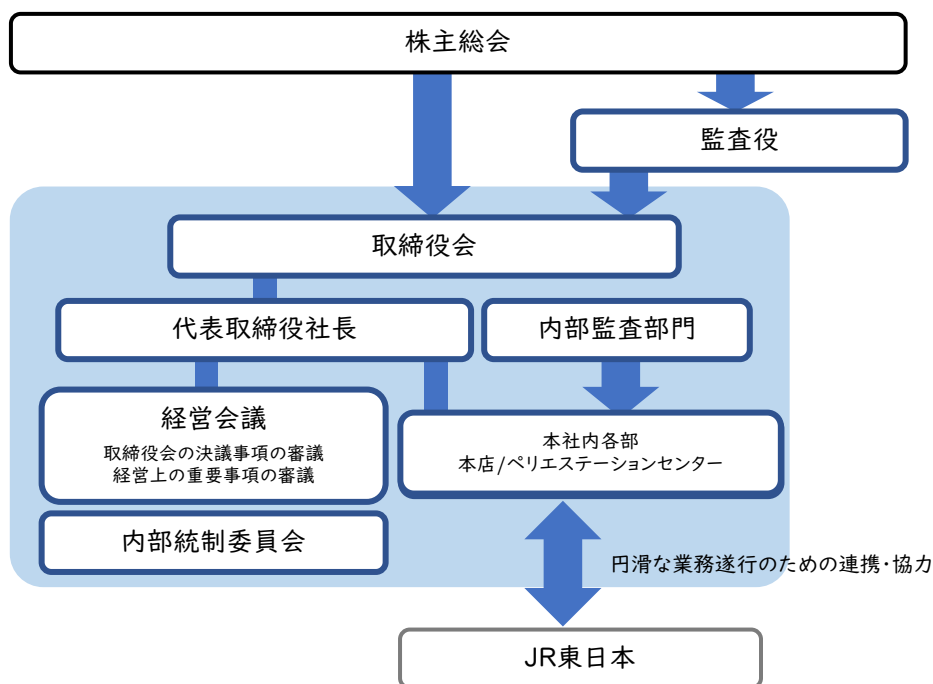
テナントスタッフ向け特典の充実

当商業施設で日々ご尽力いただいているテナントスタッフの皆さま、バックスタッフの皆さま、そして協力会社の皆さまへの感謝の気持ちを込めて、各種イベントの充実に力を入れています。スキルアップ研修の充実やオンライン研修の運用、お客さまがスタッフや店舗に感謝や応援のメッセージを送ることができる「TipSmile」の導入、無人コンビニの設置(ペリエ千葉バックヤード)、1年の感謝を込めた従業員パーティー「ペリフェス」など、年間を通じてモチベーションの向上とコミュニケーション活性施策に取り組んでいます。これからもペリエとテナントスタッフの絆を深め、ペリエでの働きがいや、ペリエで働いてよかった!と感じていただける商業施設を目指します。



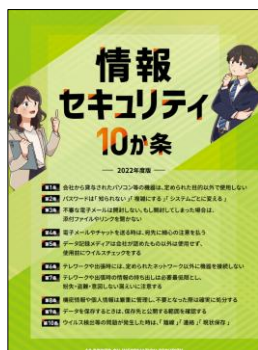


当社は、コンプライアンス、安全・安心の確保、財政上の損失の防止、財務諸表の健全性の確保などに加え、新たな事業分野への発展などの観点も踏まえたリスクマネジメントに取り組むことを目的に内部統制委員会を設置し、継続的な見直し、これに基づく業務改善を常に行い、効率的で働きやすい職場づくりに努めています。



- ・ 原則として年10回の取締役会を開催し、重要な業務執行の決定、監督を行っています
- ・ 取締役会では、社外より取締役および監査役を入れ、幅広い視点から議論を行っています
- ・ 原則として週1回開催する経営会議では、取締役会の決議事項や経営上の重要事項の審議を行うほか、内部統制委員会を設置することにより、ガバナンスの強化を図っています
- ・ 内部監査部門が、本社内各部・本店/ペリエステーションセンターを対象として、適法かつ効率的な業務執行を確保するための監査を定期的に行い、その結果について、経営会議に報告を行い、課題の解決や不正・誤りの防止に努めています
- ・ 「統制状況の監査」を通じて、3ラインモデルによる内部統制の定着・ガバナンスの強化を目指しています
- ・ 監査役は、経営会議や取締役会など重要な会議への出席などを通して、各取締役の業務執行の監査を行っています
- ・ 会計監査については、外部監査法人が監査を行っています

全社員研修・コンプライアンス教育



全社員に対し、毎年、コンプライアンス及び情報セキュリティについて集合研修を実施しています。

また、当社のWebサイトには、当社内に設置した「公益通報者保護法に関する相談窓口」を掲載し、社員をはじめ、取引先従業員からの相談等に対応しています。

今後は更に2026年度からJRグループの「決意と約束」が制定されたことに伴い、当社もその趣旨に則り取り組んでいきます。



みんなが輝く職場づくり

多様なキャリアプランの選択

当社は、育児両立・キャリア志向の多様なニーズを踏まえて柔軟かつ多様な働き方を可能とする制度を拡充しています。産休・育児休暇はもとより、育児をしながらキャリア形成していくためのキャリアサポートや、シニア人財の豊かな知見・経験を活かして将来を見据えたキャリアプランの構築を進めています。

当社の取組みが評価され、2024年4月に「プラチナくるみん」、2025年5月には「プラチナえるぼし」認定を取得いたしました。



※「プラチナくるみん」：くるみん認定を受けた企業が、より高い水準の取組を行い一定の基準を満たした場合、優良な「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の特例認定を受ける証。

※「プラチナえるぼし」：えるぼし認定企業のうち、一般事業主行動計画の目標達成や女性の活躍推進に関する取組の実施状況が特に優良である等の一定の要件を満たした場合に認定される証。



【社員の声】 各施設の設備・開発部門に所属し、男性社員が多い部署ですが、先輩方と温かい雰囲気と一緒に業務を行える環境の中、日々、商業施設の成り立ちを学びながら、「安全安心を大事に」という意識を持って、経験を積み重ねています。



【社員の声】 様々な先輩方の実績を参考にしながら、会社独自の休暇制度やフレックス制等を活用することで、自身に合わせた働き方を選択し、子育てをしながら仕事にも継続して携わることができています。

働き方の向上と社員のウェルビーイング

当社では、スポーツやアクティビティ等の部活動やレクリエーションの機会を推奨し、社員同士のコミュニケーションや心身のリフレッシュの場を創出しています。こうした社員交流の機会は、部署や職種を超えたつながりを生み、日常業務における風通しのよいコミュニケーションの促進や、自由闊達な意見交換の土壌形成にも寄与しています。その結果、多様な視点の共有や新たなアイデア創出につながり、組織の活性化に貢献しています。今後も、働きやすく、一人ひとりが活躍し、働きがいやウェルビーイングを高められる職場環境づくりを進めてまいります。





PERIE Sustainability Report 2026

株式会社千葉ステーションビル

千葉県千葉市中央区新千葉一丁目7番2号 ペリエ+plusビル

URL <https://www.perie.co.jp>

Published: July 2026

Illustrations by 宮内 亜希